

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

## プレゼンテーションと授業のブラッシュアップ講座 (教師と保護者で学ぶサークル定例会)

～糟屋地区家庭教育支援チーム(かすや子育て研究会かぶとむし)～

令和元年8月9日(金)、サンレイクかすやにて「プレゼンテーションと授業のブラッシュアップ講座」を開催しました。

通常は月に一度開催されている「かすや子育て研究会かぶとむし」の定例会(いつもは主に教師のみの参加)を、夏休み限定で、地域の保護者と一緒に行うという企画です。子育て支援講座に関するプレゼンや授業を修正する過程を見ていただくことで、子育て支援活動のコーディネートや日常の子育てに活用してほしいという目的で行われました。参加者は、21名(学校関係者15名、一般6名)でした。



【東京オリンピックについての授業を検討している様子】

### 講座内容

- 1 本講座の趣旨について
- 2 子育て支援講座のプレゼンテーション、授業の事前検討会
- 3 講座や授業の上達について(井上 浩希 氏、中村 隆 氏)

子育て支援講座のプレゼンテーションや授業等(道徳・算数・社会・特別支援・生徒指導・もくもく掃除)の事前検討、講師として前に立つときの話し方等、合計13の内容を行いました。

例えば、子育て支援の活動「思春期の子どもへの対応講座」や「子どもにとってのスマートフォンの在り方(渊 知也 氏)」等では、資料の吟味や講座の流

れなどの事前検討に加えて、その内容を実際に行う場面もあり、保護者の日常の子育てについて考える場にもなりました。

また、同じ講座の内容でも参加者の実態や状況に合わせて、話し方や活動を変える演習も行いました（井上 愛子 氏）。



【思春期の子ども対応についての模擬講座の様子】

さらに、インターネットの動画等で学べる時代に、なぜ人は集まって勉強することが大切なのかということを考えることで、主体的対話的な学びについての学習も深めることができました。

#### 〈子育て支援の活動をされている参加者の感想〉

○人に見せる仕事は 何事もそうかもしれないですが、最初がとても大事だと思いました。「指示は短く、明確にする。また、得意な子どもの事も苦手な子どもの事も両方考えた授業をする。」先生達はとても努力と研究をしているのだと思いました。



【参加者の感想や意見を交えながら検討している様子】

テンポやリズム、こちらのペースに巻き込む事、かつ講師が喋り過ぎない事。色々気をつけないといけない点があり過ぎました。私も「今日のテクニックを、早速取り入れてみよう！」と思いました。

○主体的かつ対話的な授業の意義も取り上げられていて、「対話」というキーワードがここにも出てきました。子どもが、興味から学ぶ姿が目に見え、早く実践してみたくなりました。さらに、思春期を題材にした 保護者向け模擬講座もあり、思春期を学ぶ会を企画した身としては 参考になりました。

「かすや子育て研究会かぶとむし」の長期的な目標は、地域の方々が、子育て支援の活動を糟屋地区で数多く行えるようになることです。本日の企画がその一助となればと考えています。